

「安楽死を考える」

～医師による死の帮助・医療措置の中止・最期まで延命措置、私たちの選択は？～

昨年6月のNHKスペシャル「彼女は安楽死を選んだ」をご覧になりましたか？放映後、国外で安楽死を希望する方が急増していると聞いています。日本国内の医療者間では「医療措置の中止」までは認められると考え実践されている向きもありますが、社会は我々の常識を超えて「死の帮助」まで求める時代になってきました。安楽死の「賛成」「反対」を議論するのではなく、まずは医師として知っておくべきことを学び、そのうえで議論を進めていければと考えています。

もし、あなたの患者さんが「スイスへ行きたい」と言ってきたら、あなたならどうしますか。

日時 : 2020年10月17日(土) 16:00~19:00

会場 : 神奈川県総合医療会館 7階講堂 **先着 100名・マスク着用**

基調講演

『 人生最終段階への医師の関わり方
～諸外国それぞれのありよう 』

講師

髙島 次郎 氏 (ぬでしまじろう: 生命倫理政策研究会 共同代表)

パネルディスカッション

『 医療者にできること、宗教者にできること 』

- ◆ 髙島次郎 氏
- ◆ 三浦靖彦 医師 (東京慈恵会医科大学附属柏病院 総合診療部 診療部長)
「厚労省による人生の最終段階のガイドライン、
日本医師会によるアドバンス・ケア・プランニングから、日本の現状を考える」
- ◆ 西 智弘 医師 (川崎市立井田病院 かわさき総合ケアセンター 医長)
「緩和ケアにおける鎮静の現状」
- ◆ 小田武彦 神父 (聖マリアンナ医科大学病院 宗教主事、カトリック司祭)
「悲愛 (アガペー) に抱かれて生きる」
- ◆ 井川裕覚 氏 (関東臨床宗教師会 代表、僧侶)
「“いのち”の選択とスピリチュアルケア～臨床宗教師の実践から」

司会

長谷川 修、高見沢 重隆

コメンテーター

井野元 勤、江口 一彦、荏原 太
(神奈川県内科医学会 健康長寿社会を目指す委員会 委員)

【Closing remarks】 神奈川県内科医学会 会長 金森 晃

主催: 神奈川県内科医学会 健康長寿社会を目指す委員会

《連絡先》 神奈川県内科医学会事務局 TEL: 045-241-7000

後援: 公益社団法人 神奈川県医師会

日本医師会生涯教育制度: 3単位 カリキュラムコード: 1, 2, 4, 5, 10, 81

神奈川県内科医学会「健康長寿社会を目指す委員会」パネルディスカッション

・「安楽死を考える」

～医師による死の帮助・医療措置の中止・最期まで延命措置、私たちの選択は？～

日時：2020年10月17日（土） 16:00～19:00

会場：神奈川県総合医療会館 7階講堂 先着 100名・マスク着用

参加申込書

お名前：_____

医療機関名：_____

電話番号：_____

メールアドレス：_____

上記項目をご記入のうえ、神奈川県内科医学会事務局まで
FAX(045-241-1464)にてお申込みください

万が一、中止の際は神奈川県内科医学会ホームページで
お知らせいたします